

「上れなくなった」に
注目した、僕の部屋で
寝たいとは思っていない
子の意見。

僕の部屋で寝たいと思
っている子の他の理
由。

C4 疲れるけど、僕の部屋で寝たいと思う。(ゆず)

T1 じゃあこの、「上れなくなった」を、疲れるっていう風にゆずちゃんは考えたんやな。

C5 疲れるけど、でもすすへ寝れる。(いお)

C6 先生、かーくんそれと、ちよつと違うところを変えたら・・・ゆずちゃんのことを一個変えたら、かーくんは・・・(かい)

C7 ゆずちゃんと意見・・・(ゆず)

T2 よし、ちゃんと、似てると思うっていうので、かいらくん言いたくなってるから、似てるの方が意見繋がりやすいので、かいらくん次どうぞ。

C8 あのみ、階段が上れなくなったって書いてあって、疲れるから、もう僕の部屋で寝たくない。下で寝たいってなるから、だから、寝たくないの方に手挙げた。

T3 おく。なるほど。

C9 めっちゃ似てる。(らふ)

C10 かいSくんとめっちゃ似てる。(ゆず)

T4 「上らなくなった」を、ゆずゆちゃんは、「上れなくなっても寝たい」っていうのがゆずゆちゃん、「上れなくなったんやったら、もう一階の方がいいわ。疲れるから。」っていうのが、同じ場所に注目してるけど、反対やな。

C11 先生、かいSくんとか所だけ違うだけでさあ・・・(ゆず)

T5 じゃあ似てるそらちゃんの次、らんちゃん言ってもらおうわな。

C12 「まもなくエルフは階段も上れなくなった」って書いてあるから、エルフは「階段上ってみ」って言われても、「もう無理だよ」ってなって、「一階で寝たくなった」。(ゆず)

〜中略〜 しっかりと聞けていない子がいたのでもう一度C12の意見を聞く。

C13 「階段も上れなくなった」で、エルフは上るのが嫌やの・・・年をとったから、上るのが嫌やから、エルフは、一階で寝たい。(らふ)

T6 オッケー？言いたいこと分かった？

C14 ちよつともう一回言っつて。(たい)

C15 エルフは階段も上れなくなつて、エルフはもう年をとつて、上がるのがつかれるから、一階で寝たい。(ゆず)

T7 いい？この「上れなくなった」に注目して意見が言ってるな。これ大事やで。「ぼくの部屋で寝なくちゃいけないんだ。」の前、なんでこうやって思ったかっていうと、「階段も上れなくなった」いうのが、きっかけやもんな。

だから、もう一階で寝たいやんかエルフは。っていう意見が3人やな。かいらくん、そらちゃん、らんちゃん。上れなくなったけど、気持ちは行きたいよっていうのがゆずゆちゃんやな。「上れなくなった」に注目して意見言いたい人はもういない？じゃあ、まだ理由が伝えきれない人聞かせてもらおうわな。

〜中略〜 エルフは僕の部屋で寝たいと思ってる他の子の意見を聞く。

・エルフにやわらかいまへつをあげるから。(エルフはそのまへつで寝たい) (あやね)

・「ゆずって、大好きだよ。」っていつてもゆずえるから。(いお)

→それなら他の部屋でもできるっていう反論が出る。

・毎日「ゆずって大好きだよ。」っていつつてもゆずのが嬉しくかひ。(ぼくの部屋に行けば言っつてもゆずえる) (みわ)

・エルフがこの家に来てリビングの次に行った部屋が僕の部屋で思い出がたくさんあるから。(たい)

たぬきが糸をすむへ練習
を始めたのはどこか、段
落を選ばせる。

C19じゃあ上れたやん。(N/A)

C20じゃあ上れたってこと？(たいてい)

T14「上らない」ってというのは、やってみようとする？しない？

C00しない。

T15上らないよってというのは、ぶいって上らないねんかな。上りたくないってというのが、上らない。この言葉な一文字違うけど、「上れない」ってというのは、上ろうとしたことがあるってこと。上らへんってというのはとは違うから、ぼくも、体はよぼよぼになったけど、二階に行ってみようっていう気持ちは持ってた。だから、エルフだって、僕の部屋で寝たいっていう気持ちはあるんだから、ぼくの部屋でねなくちゃってという、そういう風な文になってます。

子ども「対立」させておいて、それを追求するのはな、教師が解説するのは授業でした……

4. 今後の授業展開案

1. 「エルフは世界で一番素晴らしい犬です。」と言える場所は「場面までであったかな？」
犬の大会でチャンピオンになったわけじゃない。素晴らしいの自身は、能力が高いことじゃない。
一・一・二の場面には、僕とエルフの特別な絆が書いてあった。

2. 三の場面でも考えた方がいいよ。

☆どうして、なにを飼っても毎日きつと「すつと、すつと、大好きだよ。」ってさるの？
エルフに言っていた言葉とは違ひ。どうも変わっている。

毎晩寝る前→毎日

「すつと、大好きだよ。」→「すつと、すつと、大好きだよ。」

3. 回でエルフには「寝る前には必ず「だったんだらうっ？寝る前」に言っていた訳を考えよ。
- ・寝たら、明日になったら、死んでしまっているかもしれない。これからすつと「一緒にいたい(長生きしてね)と、うっ気もささるためだったか。
- ・一緒に寝るを見たか。

↑
エルフの死を意識して言っていた。

4. 「すつと」が増えているのはなぜ？

・エルフはもつ年をとってしまってたから、そんな「長生きできないけれど、他の動物はまだ元気です」一緒にいてくれると、うっ気かかると、うっ。

↑
死ぬという事を意識する前か？

5. ほくはエルフに「すつと、すつと大好きだよ。」と言っていたのなぜ？

→言っていない。うっ気かかもちが楽だった理由は「すつと、すつと、大好きだよ。」って言っていたから。

☆言わなくても分かるのではな、毎日おびたう言葉にして伝えるのと大切を「気付けくくれたのがエルフ。だから、ほくはエルフは世界一番すつと、すつと、大好きだよ。」